

乗っ込みシーズン到来!

マダイ【スズキ目 タイ科】

桜の頃になると、いよいよマダイ乗っ込みシーズンの到来です。東京湾口の剣崎沖などでは釣船がひしめき合い、「広い海なのにどうしてここだけ?」と思うような不思議な光景が見られます。“乗っ込み”とは魚が産卵のために浅場に移動してくることを言います。成魚は水温が14℃前後になると、30~60mの根周辺に集まり、産卵前の体力をつけるために荒食いをするようになります。そのため丸々と太った大物が釣れる場合が多いのです。この時期オスは黒ずんできますが、メスは色鮮やかになり、脂の乗った身はほんのり桜色に染まり、桜の時期の漁獲とも相まって“桜鯛”と呼ばれます。潮流時は根頭から中層にかけて捕食行動をとりませんが、荒喰い時期はとにかく食欲旺盛、周辺の砂地でもエビやカニ、貝等を捕食するため、海底付近を徘徊します。乗っ込みシーズンは砂地に狙いをつける釣船も多く、海底から1~2mに棚を取ります。この時、潮の流れや海底の微妙な地形を計算して、ハリスを調整することが大切です。付餌に砂が付いていたり、トラギスなどの底モノが釣れるとか、潮にたなびいて想定した棚に付餌が届かないときは調整が必要です。

マダイは日本人にとって馴染みの深い魚、披露宴やお食初め、大相撲の優勝会見など、めでたい席に必ず登場しますし、釣れたときの喜びは他の魚にないものがあります。この時期ならではの“桜鯛”、チャレンジして下さい。



マダイ

今月のおすすめ釣魚

4月休日の潮回り

1日(日) 10:58満潮(124)	18:54干潮(56)	若
8日(日) 11:54干潮(3)	18:28満潮(184)	中
15日(日) 6:57干潮(104)	11:59満潮(125)	長
22日(日) 11:31干潮(13)	17:57満潮(171)	大
29日(日) 8:39満潮(132)	16:22干潮(57)	小
30日(月) 10:38満潮(125)	17:50干潮(62)	長

こんな魚が釣れてます



何とんでもメバル、カサゴが美味しい時期です。低水温期の根魚は脂のノリが違います。

安全航行をいたしましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



本家本元“サクラダイ”



久しぶりの大雪でした

今月の出艇数

H24年2月16日~H24年3月15日

20艇

今月の夜間係留数

H24年2月16日~H24年3月15日

3艇

保管場所空き状況

平成24年3月25日現在

3艇

海の生物ワンポイント

サクラダイ【ハタ科】

“桜鯛”と呼ばれるのは、乗っ込み時期のマダイのこと。こちらはハタ科ハナダイの仲間。水深30~50mの岩礁域に群れ、マダイやイサキの外道で釣れますが、10~15cm程度なので食用には不向きです。

トピックス

今年はいよいよ年ですが、2月29日は関東各地は大雪に見舞われ、とても印象深い日となりました。皆様も各交通機関の乱れに悩まされたことと思います。秋谷港では2008年以來の積雪となり、駐艇場も銀世界となりました。翌日の凍結が心配されましたが、気温上昇のおかげで被害はありませんでした。

Q.マダイの天然と養殖の見分け方は?

A.天然マダイはスマートな体型、鮮やかなピンク系赤に青い小斑紋が散り、美しい印象、鼻の穴は左右2つずつあります。比べて養殖マダイはズングリしていて黒っぽく、青斑紋も目立たず、地味な印象、鼻の穴は左右1つずつが特徴です。片方1つで、もう片方が2つの放流モノ(?)もいます。



天然マダイ

養殖マダイ

指定管理者からのお知らせ

出港前点検のご案内

こんにちは、横須賀市船舶保管施設等指定管理者の株式会社パワー・フォワード・アソシエーションです。新しいシーズンのスタートですが、はやる心を抑えて、まずは点検を行いましょう。冬の西風で塩漬けになった船外機や船体を洗い流し、検水口とハンドルのチェック、スロットル、チルト等がスムーズに動作することを確認しましょう。出港前にあわてることのないように、事前にご来場、点検されることをお勧めいたします。安全で快適なシーズンをお過ごし下さい。 お問い合わせは ☎ 0120-560982 (コールアキヤに)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件